熊本学園大学付属海外事情研究所 2019年度第1回研究会

経済特区と時代を超える発展
-中国経済特区の発展と深圳市の経験-

日　　時：2019年7月11日（木）16：20～17：50

会　　場：熊本学園大学１４号館５階 第５会議室

講　　師：鍾堅（しょうけん） 氏（深圳大学交換教員）

講演言語：中国語　※逐次通訳有

参加無料

＜プロフィール＞

中国・深圳大学経済学部教授。2019年3月1日～2019年8月31日まで熊本学園大学に交換教員として在職。現在は主に、マクロ経済理論、都市経済、国内外の各種経済特区（各種開発区）、珠江デルタと香港・マカオ・台湾経済等方面の研究に従事している。

経済特区とは、特定の経済的目標を達成するための開放政策を行うために指定された経済地域のことです。中国においては40年間の改革開放及び近代化を進める上で、経済特区は重要な役割を果たしています。中国では、経済特区が1つの型から数多くの型へと、また沿岸部から内陸部さらには国境地域へと発展し、いまや中国企業が海外に経済貿易協力区を開設し、中国政府も現地で自由貿易区協定を締結するなど、経済特区の活動範囲は国内に留まらず、国外にまで及んでいます。その中でも、深圳経済特区の発展は中国の経済特区の成功モデルとなり、世界の工業化、都市化、近代化の奇跡を生み出し、世界の関心と注目を集めています。深圳はどうやって発展してきたのか、現在はどうなのか、今後どこに向かうのか？ この研究会では皆さんとこれらの疑問を共有し、一緒に考えてみたいと思います。研究会の主な内容は、（1）中国の経済特区の発展、（2）深圳経済特区の発展の歴史、（3）深圳経済特区の主な特徴、（4）深圳経済特区の成功、そして（5）深圳の将来展望です。

参加ご希望の方は、下記までFAXまたはEmailのどちらかにより事前の申込みをお願いいたします。

申込みの際は、ご氏名・ご所属・ご連絡先を明記ください。なお、申込受付後、受講ハガキ等はお送りしておりません。当日はそのまま会場へお越しください。※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

＜申し込み・問い合わせ先＞
熊本学園大学付属海外事情研究所（担当：学術文化課）
月～金　8：45～17：15（12：30～13：30除く）
Email：kaigai@kumagaku.ac.jp　／　FAX：096-364-5201（専用）
〒862-8680　熊本市中央区大江2-5-1　TEL：096-364-8731（直通）